

受賞を契機に新たに取り組んでいること

1. 課題を選んだ理由

昨年度、記念事業として公園に記念樹や「万葉集に詠まれている植物」を植えたが、これらを枯らすことなく育てていくため住民が力を合わせて活動を行ってきた。また、懸案であった受賞記念碑について検討をすすめ設置することができた。

2. 活動の経緯と取り組んだ内容

6月

コンサルタントより紹介された造園会社の社長を招き樹木の管理についてアドバイスを受けた。

土壌が粘土質で透水性が悪く、根が深く入っていないため木の上部の枝枯れが発生しており、自然な樹形美が損なわれている。対策として、樹木に活力を与えるために緩効性固形肥料（2年効果）を与えて枯れ枝の発生を無くすこと。

また、毎年実施してきている芝生の一部入れ替えは効果がないので取りやめ、その費用で高木類の固形肥料代に充てたほうがよいこと、などの提案を受けた。

7月

コンサルタントより、新たに植えた記念樹などについては梅雨の後の水やりが重要で、水が切れると枯れる可能性があるとのことであった。今年の夏は猛暑の上、雨がほとんど降らず連日の真夏日であったので、住民で手分けして散水を9月一杯まで継続して実施した。

1月

懸案であった、「住まいのまちなみ優秀賞」受賞の記念碑についてコンサルタントに協力を依頼した。

2月

コンサルタントより記念碑のプランが提出された。アルカディア21街区の形をした石に、コモンスペースの公園を模ったプレートをはめ込むという案であった。

この案を委員会にて検討し、コンサルタントと数回の打合せを重ねた結果、3月8日に最終案が示され、この内容で決定した。

また、昨年植えた桜の木の根元に土が被さり水はけが悪くなっていることをコンサルタントより指摘されたので、造園会社に依頼して枝を払うとともに腐葉土を入れて水はけを良くする作業を行った。



3月

記念碑の設置工事を行った。立てて設置すると安全面から基礎を作る必要がありその分コストがかかること、斜面に寝かせる形にしたほうが景観的に見栄えもよいことから斜面に置く形にした。



4月

総会において昨年度の活動について報告し、合わせてこれからの課題について協議を行った。



3. 調査検討費の使途

- ・ 記念碑の石加工費
- ・ 銅板加工費
- ・ 企画検討費

近い将来取り組まなければならない課題

本年の総会でも話し合われたことであるが、組合員の高齢化により管理活動への参加が難しくなっていること、毎年役員については持ち回りで選任されているが、負担が大きいことや人によって管理のレベルにばらつきが生じること、街の管理をどの程度までの費用で行うのかということなどが検討課題であり、他の受賞団体の活動事例も参考にしながら引き続き取り組んでいきたい。